# 神殿の少女

明日は神殿で結婚式だ

戦いの中で
若者は
捕えられた

奴隷として
遠い
異国へ
売られた

何年も
過ぎた
歳月が
少年を
老人に
変えた

ある日
老人は
解放
された
彼は
杖をもって
東へ
向かった

故郷へ

明日は
神殿で
結婚式だ

老いが
目を
迷わせた
時どき
なぜ
旅を
してるのか
忘れた

……ふと
知っている
道を
歩いて
いると
感じた

そうだ
これは
神殿へ
ゆく道だ
神殿は

すっかり
崩れていた

だが
少女はいた

《おわり》

グレープフルーツ 1984年20号に掲載